

海外進出ステップアッププログラム「セミナーB実施レポート」

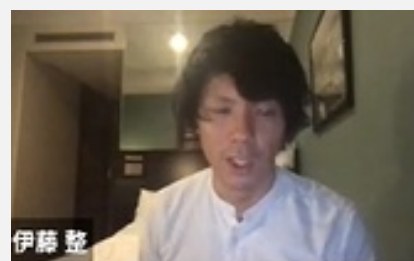
10月30日に第2回目となるセミナー「海外でアニメーションをつくるためのステップとは」をオンラインにて開催いたしました。プロデューサーの立場、クリエイターの立場の両面からそれぞれお話をいただき、経験談なども交えながら、海外展開に向けてプロデューサーとして行すべきことや、自分の作品を制作してテレビで放映されるまでの流れについて、わかりやすく講義をしていただき、大変有意義な内容でした。

セミナーB「海外でアニメーションをつくるためのステップとは」 講演内容ご紹介

株式会社プロダクション・アイジー プロデューサー 伊藤整氏

「海外展開に向けてプロデューサーとしてやるべきこと」

- アニメーションの海外展開について、プロデューサーの立場で重要なこととして、基本的な「知る」ことについてと、具体的な「売る」ことについての大きく2点に分けて整理していただきました。知ることについては、まずは自身がプロデュースする作品について、フォーマット、作品内容を理解すること、その上で、ターゲットとするマーケットや、マーケットでの目的を明確にすることが大事であることを説明いただきました。売ることについては、いくつかのケーススタディをもとに、どのような作品をどのように展開していくのか、その時々ポイントを解説いただきました。
- また、作品を扱う上で気を付けるべきこととして、契約関係や権利関係に関する留意点等について、最新の動向を踏まえながらまとめていただきました。



伊藤氏によるセミナーの様子

アニメーション監督/作家 貴志春菜氏

「海外のテレビ局で自分の作品が流れるまで」



貴志氏によるセミナーの様子

- 自身の作品「Miru Miru」がフランスのテレビ局で流れるまでについて、現地のアニメーション監督育成学校に通い始めた頃に取り組んだことから始まり、原案を誕生させ、企画化し、バイブルを作り、トレーラーを作り、シリーズ版となって放送されるまでを段階ごとに整理いただき、当時の体験談をもとにお話しいただきました。
- 特に、作品を具体化していく際に要求される脚本やキャラクターデザインの変更等について、変えていったことや譲らなかったこと等、クリエイターの目線でどのように自分の作品を放送に向けて作り上げていくかという部分と自身の作家性の部分との関係性や、自身のこだわりを作品に反映していくための、バイブルによるクオリティコントロールの仕方等、具体的に伝えていただきました。